

数理・データサイエンス・A I 教育プログラム自己点検評価報告（令和6年度）

1. 自己点検評価の内容

福山大学では、数理・データサイエンス・A I 教育プログラムを二つのレベルで実施している。リテラシーレベルは令和2年度から開始して現在5年目、応用基礎レベルは令和3年度から開始して現在4年目となる。両レベルともに令和3年度の実績により、文部科学省から正式に「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル・応用基礎レベル）」として認定を受けた。この認定の有効期限は令和9年3月31日までである。

本プログラムは現在、認定でも定められている適切な教育内容を安定して提供しており、運営面での課題は発生していない。そして、必要な教育内容の改善を進めている。修了証の発行については段階的に進み、リテラシーレベルは令和5年度から、応用基礎レベルは令和6年度から、それぞれ卒業生を対象とした発行を開始した。これは当初の計画通り進めており、3月の所定期日までに申請した学生に対して卒業時まで修了証を直接手渡している。また、他大学との連携も積極的に継続しており、プログラムのさらなる発展を目指している。今後も社会が求める人材育成を目標に、適切な教育内容の提供に努める。

2. 実績

- 令和6年12月： 広島県デジタルリテラシー教育事業に関する広島県立大学からの情報提供ならびに情報共有
この取り組みは、福山大学数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの一部科目のシラバスを、令和7年度からモデルカリキュラムを参考に改善する（下記）ことにつながった。同時に、広島県デジタルリテラシー教育事業の支援を受けて教材提供を受け、令和7年度からは情報工学科の専門科目で活用することを予定している。
- 令和6年12月： 数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの一部科目のシラバスを、数理・データサイエンス・A I 教育プログラムのモデルカリキュラムを元に改善
- 令和7年3月： 福山平成大学における数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの自己点検・評価活動への協力
- 令和6年度全般： 数理・データサイエンス・A I の教材の充実
数理・データサイエンス・A I の一部教材について内容の改定と拡充を実施した。

以上が、数理・データサイエンス・A I 教育部門の令和6年度における主な活動と成果である。